

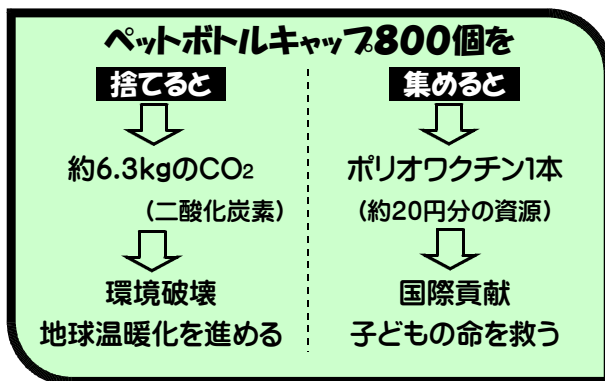
ペットボトルキャップで 世界の子どもたちに笑顔を!!

「捨てれば ゴミ！ 集めれば 命！」

2年A組では、昨年度から「エコキャップ活動」に取り組んでいます。そのきっかけは、ある一人のクラスメートの提案でした。

捨てればゴミになるペットボトルのキャップだけれど、たくさん集めれば世界の貧しい国の子どもたちを助けるためのワクチンが買えるそうです。どうせ捨てるものなんだから、クラスみんなで回収に取り組みたいです。

その後、クラスみんなで話し合った結果、全員で取り組むことにしました。昨年度は、先輩方も協力してくださり、たくさんのキャップが集まりました。



知っていますか？

**世界には感染症で命を落とす
子どもたちがたくさんいることを…。
その感染症は、ワクチンで
予防可能なのです。**

子どもたちの命を脅かす六大感染症(ポリオ、はしか、結核、ジフテリア、百日咳、破傷風)は、予防接種の普及により日本では非常に少なくなりましたが、ワクチンが調達できない開発途上国では、感染者の命を奪ったり、深刻な後遺症を残したりするなど、いまだに大きな脅威となっています。例えば、ミャンマーの5歳未満児の死亡率は日本の20倍以上に達するなど、ワクチンの接種ができずに亡くなってしまいう子どもたちが世界にはたくさんいるのです。このようにワクチン不足は多くの開発途上国において、とても深刻な問題です。また、国境を越えて人の健康や生命を脅かし、ひいては社会全体に深刻な悪影響を及ぼしうる問題となってしまう可能性もあります。

… 50年ほど前の日本のお話です …

わずか50年ほど前の話ですが、日本でも1000人に対して30人もの5歳未満の子どもの命が亡くなっていました。

特に1959年から始まったポリオの大流行は、子どもたちにとって大変な脅威となり、ピーク時には6000人近い患者が見られましたが、海外から緊急輸入されたワクチンによって、その流行は短期間で終息に向かいました。それから、全国でワクチン接種を継続してきたことによって、日本ではポリオは根絶したとされています。

現在の日本の5歳未満児の死亡数は、1000人に対して3人となり、世界で最も死亡率が低い国の一つです。



2年A組のエコキャップ活動宣言

- ☆ 私たちの行動で世界の子どもと地球に未来を!
- ☆ 小さなキャップでも、分ければ資源!
- ☆ ポリオワクチンは一人分20円!
- ☆ キャップ約800個で
一人の子どもの命が救えます。



現在の個数

2987
個

(6/4現在)

皆様のご協力をお願いします。

(職員室前の回収箱に入れてください。お手数ですがキャップは一度洗ってください。)